鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話（〇二七七）三二一一一七七
FAX（〇二七七）四〇一六〇〇〇

お正月を迎えて「戌年」

戌 干支の由来

【犬】社会性があり、忠実な動物。人との付き合いも古く親しみ深い動物。いぬは安産の守り神、そして金銀財宝の象徴でもあります。貴金属は白い色をしたものが多いので、白い犬がいちばん尊いとされています。

日本に伝わる十二支の話

昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちにお触れを出したそうな。

「元日の朝、新年の挨拶に出かけて来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大将にしてやろう」

動物たちは、おらが一番とて、めいめいが気張って元日が来るのを待っておった。ところが猫は神様のところにいつ行くのか忘れてしまったので、ねずみに訊くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやった。猫はねずみが言うのを間に受けて、喜んで帰っていったと。

さて元日になると、牛は「おらは歩くのが遅いだで、一足早く出かけるべ」とて夜のうちから支度をし、まだ暗いのに出発した。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、ぽんと牛の背中に飛び乗った。そんなこととは知らず、牛が神様の御殿に近付いてみると、まだ誰も来ていない。

我こそ一番と喜んで待つうちに門が開いた。とたんに牛の背中からねずみが飛び降り、ちょろちょろっと走って一番になってしまった。それで牛は二番、それから虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順で着いた。猫は一日遅れで行ったものだから番外で仲間に入れなかった。それでねずみを恨んで、今が今でもねずみを追い回すのだそうな。

初詣はぜひ菩提寺まで

新しい年には厄除け

十二月三十一日「除夜の鐘」十一時より恒例の「甘酒」の接待をいたします。古いお札や縁起物がありましたらお持ち下さい。前庭にておたき上げ致します。

除夜の鐘は十一時四十五分より、撞き初めます。お誘いあわせのうえ、お詣り下さい。

初厄除け

元旦〇時より　本堂にて、本年の厄を消除する、初厄除けの祈願を致します。一日より五日まで厄除けを行います。また四日は大祭です。九時より、ご祈祷を致します。皆様の御参りをお待ちしております。

「インターネットでも、電話でも申込みを受付ています来られない方は送ります」

http://www.hosenji.or.jp

平成18年の厄年

	後厄	本厄	前厄
男の大厄42才	昭和39年生れ	40年生れ	41年生れ
女の小厄37才	44年	45年	46年
女の大厄33才	48年	49年	50年
男25才の厄年	56年	57年	58年
女19才の厄年	62年	63年	平成元年
幼児4才の厄年	平成14年	15年	16年
男女61才の厄年	昭和19年	20年	21年

13才詣り・男女平成6年生れ

鳳仙寺開山堂・祠堂〈位牌堂〉（併設／秋葉堂・薬師堂）
新築勧募進捗状況のご報告

現在の開山堂・秋葉堂を取り壊しの跡地に木造一部二階建て多機能の小本堂を建立、二階部分に釈迦尊像、開山様、薬師様、秋葉様とお祭りし一階を祠堂として位牌を安置する事業ですが、順調に進んでおりまして、十二月末までにお檀家の六十パーセント方々からご寄付をいただきました。お位牌は全部のお檀家が安置されます事が理想です。

また、十八年度末までの勧募ですので、これからの方はよろしくお願い致します。

次に、ご寄付に関しまして、勘違いもありましたのでそれをご説明致します。

一口、八万円寄付者には、記念品として位牌を作り永代供養位牌として位牌堂へ安置します。もし出来ましたら二口十六万円以上お願いします。

永代供養位牌の安置料などはありません。

永代信仰の証しとして、仏具の寄付をお願い致します。仏具寄付には、その仏具にお名前を書き入れます。

仏具につきましてはお寺までお問い合わせ下さい。

百三十四枚の天井絵につきましては、全部施主が付きましたので終了致しました。ありがとうございました。

ご寄付は、ご負担を考え二年間分割払いでお願いします。

ご寄付下さった方々の氏名並びに金額〈或いは仏具名〉は、石碑に刻み永くその功徳を顕彰致します。

寄付期間終了後も永代位牌を位牌堂に安置する希望者は、同額の八万円になります。また、期間終了後には、石碑に刻めません。

完成予定模型

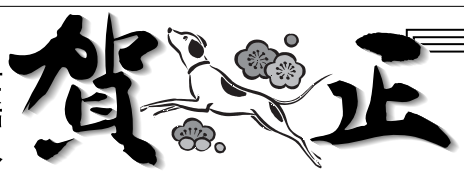
新築寄付申込の方法

新築寄付申込書にて、寄付予定金額の回答をお願いします。

銀行振込・郵便振替にてお願いします。

銀行口座
桐生信用金庫梅田支店
普通　〇一〇四六一六
鳳仙寺寄付

郵便振替
〇五二〇-〇-三二二五六
鳳仙寺



住職　坪井良廣

総代
小此木秀夫
太田亨文
石原竹雄
池田伊佐男
峯崎一男

世話人
東洋一　金子宗吉　田嶋新二
天笠勝美　金子恒雄　田島輝雄
石原信子　木島幸雄　館盛治
板井政夫　木島冨美雄　谷啓
板倉光夫　桐生高治　津久井禄治
岩崎キイ　桑子三喜男　都筑啓友
岩崎親道　桑原金吉　長澤吉太郎
内野正章　小林詔一　中島正雄
梅澤守夫　小林当二　長谷川孝元
大里政由　小林満寛　廣神重子
岡村栄三　五味田博　平方佳介
小川廣夫　清水義男　前原高男
金丸由太郎　下山直二郎　山鹿精一
金子清　下山博康　吉田長生
〔あいうえお順〕

顧問　長沢弘一郎

開山堂、三尺坊の現状報告

今回、取り壊しになります。開山堂、三尺坊の現状を報告致します。

「平成十七年十二月十五日撮影」

開山堂

開山堂、秋葉堂の老朽化が進み、補修か改築かを三年ほど前から総代さんを中心に委員会を組織して協議を進めてまいりました。

建物の作成年代も新しく、「三尺坊は、穆山瑾英大和尚、明治四十三年代、開山堂は、その少し前の時代に、長澤氏により建てられました。現在も長澤家の位牌が残されています。〈これからも残します〉」

専門家の意見では、老朽化は、外部から見るとそれほど感じませんが床下、天井、壁、屋根の各所に現れた腐れは、氷山の一角で見えない部分は、相当にひどい状態になっているそうです。

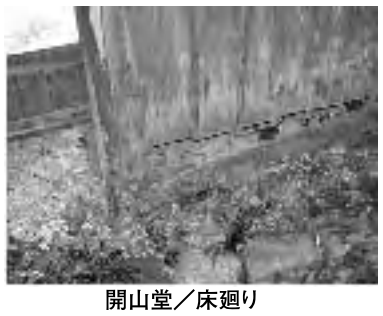
尚、開山堂は将来坐禅堂又は、別のお堂としての復興も考え使える部分の材料は保存されます。

開山堂正面

開山堂内部／天井雨漏り

開山堂入って右／壁亀裂
柱曲がり建具合わず

開山堂右横／壁は膨らみ落ちそう


開山堂／床廻り

開山堂裏／壁落ち穴も開いている

開山堂／尊像首曲がり、
右横には穴、外が見える

開山堂正面下／ベニヤ合板
見たとおりさわると ブヨブヨ

開山堂天井／穴あり
天井板はコンパネ合板

三尺坊

三尺坊／見た目はいいがいつ
向こう側へ倒れるか 判らない状態。

三尺坊／床下

三尺坊と開山堂の繋ぎ目、屋根が重なる為
雨による壁の腐れがひどい縁側は最近修理

三尺坊と開山堂の繋ぎ 目、裏から

三尺坊右横／壁は膨らみ板は腐る

三尺坊内部／天井全体雨漏り 壁シミ

三尺坊／柱が曲がり建具に隙間

三尺坊床下／ボロボロ刺すと
芯まで腐っている

三尺坊天井／雨漏り拡大、
膨らみ垂れ下がる

三尺坊裏

婦人会だより

「ひろげよう信じよう美しい心のふれあい」をスローガンにかかげ私達の婦人会は活動を展開しておおります。このスローガンが後の「会員の誓い」となっていくのです。婦人会は「会員の誓い」のことばに曹洞宗の信仰実践が表現されています。

○おしみない心でどうぞ
　さしあげます。
○やさしい笑顔でどうぞ
　しっかり
○幸せを祈ってどうぞお
　さきに
○手をとりあってどうぞ
　ごいっしょに

これは仏教の〝四摂法〟の教えにもとづいています。四摂法というのは仏道を修行するうえでの重要な実践項目「布施、愛語、利行、同事」のことです。道元禅師さまは、菩薩の願行としてこれを示されました。無常の世に、幸い人として生命をうけ又、仏の教えにふれる機会を得たのです。曹洞宗婦人会の信仰の輪の中で更に菩薩としての自覚を持って仏教の正しい教えを学び、実践して参りましょう。

平成十七年十月二十日大本山総持寺大祖堂を会場に曹洞宗婦人会創立三十周年記念大会が行われました。その中で鳳仙寺の会員の皆様からお預り致しました。修証義　第二章「懺悔減罪」のお写経百十巻を無事役員一同代表致しまして納経させていただきました事を、ここに報告させていただきます。

新しい年を迎え、ひとりでも多くの方々にこの活動に参加していただき豊かなくらしを実践していただければと願っています。婦人会申込みはいつでも受け付けております。

平成十八年度 年回表

一周忌	平成十七年
三回忌	平成十六年
七回忌	平成十二年
十三回忌	平成六年
十七回忌	平成二年
二十三回忌	昭和五十九年
二十五回忌	昭和五十七年
二十七回忌	昭和五十五年
三十三回忌	昭和四十九年
三十七回忌	昭和四十五年
四十三回忌	昭和三十九年
四十七回忌	昭和三十五年
五十回忌	昭和三十二年
百回忌	明治四十年

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めにお願いします。